

## 八次中学校不祥事根絶のための行動計画

### 【不祥事根絶に向けた八次中学校職員の決意】

～教育の原点～

子どもたちは 私たちの姿を見て 育ちます  
 使命 私たちは、子どもたちを守り、育てます。  
 遵法 私たちは、法令を遵守します。  
 公正 私たちは、不祥事を許しません。  
 公開 私たちは、地域に開かれた学校にします。

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員の年齢や経験の格差が大きく、個々の意識や知識のレベル格差が大きいこと。</li> <li>○自分は大丈夫であるという油断があること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○服務研修の方法や内容等の改善を図り、研修方法の工夫を行うことで、研修効果が実感できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○不祥事防止研修を毎月1回以上実施する。</li> <li>○不祥事防止研修を学年会で企画し、計画的かつ効果的で参加者が当事者意識を持てるような内容・方法を工夫する。</li> <li>○不祥事を起こさないシステムについて考える場を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学期に1回以上、服務についてのチェックリストを活用して確認を行う。</li> </ul>
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○講師等を含めて、職員の勤務形態が多様なため、確実な情報共有の工夫が必要なこと。</li> <li>○退校時間の遅い教員が固定していること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報の「見える化」や教職員同士のコミュニケーションの充実を図り、組織として効率的に校務を遂行する学校体制の構築に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各主任が中心となり、学年会や各分掌等で互いの仕事の進捗状況を確認し、特定の者に負担がかからない学校体制をつくる。</li> <li>○学校情報や不祥事防止情報を見える化（掲示や印刷物配付、面談等）に努める。</li> <li>○情報の整理と精査をすることにより、校務を効率化・スリム化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月1回、不祥事防止委員会で情報交換を行い、状況を把握する。</li> <li>○毎週の企画委員会において情報交換を行う。</li> </ul>
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相談しやすい学校環境づくりの整備。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「体罰、セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント相談窓口」、「障害を理由とする差別に関する相談窓口」の周知徹底を行う。</li> <li>○職員や来校者の授業参観の場を増やすことで、互いをよく知る環境をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種通信で、保護者等に周知するとともに、全ての教室に「体罰、セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント相談窓口」、「障害を理由とする差別に関する相談窓口」を掲示し、担当の教職員を明示する。</li> <li>○定期的・計画的に生徒・保護者・職員を対象にアンケートや面談を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各アンケート内容の確認を行う。</li> <li>○学級懇談会や地域懇談会、各種委員会等のあらゆる機会を利用して、保護者と生徒の様子について連携を図る。</li> </ul>